

令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

住 所 東京都千代田区霞が関 2-1-3

名 称 ○○協議会

代表者氏名 国土 太郎

令和 年度モーダルシフト等推進事業費補助金
輸送状況報告書

【過疎地域のラストワンマイル配送効率化推進事業】

1. 協議会の名称及び代表者

名 称	○○協議会
代表者の氏名 とその所属先	国土 太郎 株式会社○○代表取締役社長

2. 交付した補助額(全体)

補助対象期間	補助金額
〔補助対象期間〕 令和 年 月～令和 年 月	総額 7,000,000 円 交付要綱別表 4 補助対象経費① 4,000,000 円 交付要綱別表 4 補助対象経費② 3,000,000 円

3. 問い合わせ先(窓口)

社 名	株式会社○○
住 所	東京都千代田区霞が関 2-1-3
担 当 部 署	○○部○○課
担 当 者 名	国土 二郎
連 絡 先	T E L : 00-1234-5678 E-Mail : ~~~@~.co.jp

4. 事業の実施状況

〔輸送の状況〕

報告対象期間における輸送状況について記載して下さい。

〔課題・改善点等〕

事業の実施後明らかになった課題や改善点等を記載して下さい。また、過疎地域のラストワンマイル配送効率化による輸送が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や輸送の継続が困難である場合は、その原因についても記載して下さい。

〔今後の取組みについて〕

今後の展望や取組み内容について記載して下さい。また、過疎地域のラストワンマイル配送効率化による輸送が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や輸送の継続が困難である場合は、その改善策についても記載して下さい。

〔その他特記事項〕

5. 実施内容《総括表》

※経路が1つのみの場合には総括表の記載は不要です。
次ページの表のみ記載で問題ありません。

類型		1. 貨物自動車輸送において、複数荷主の貨物を集約化して、 積載率を向上させて配送する事業 2. 旅客自動車運送事業者が貨物を輸送する事業	
輸送期間		(輸送期間) 令和 年 月 ～	
		(補助対象期間) 令和 年 月 ～令和 年 月 (ヶ月)	
		(報告対象期間) 令和 年 月 ～令和 年 月 (ヶ月)	
輸送経路	事業実施前		
	事業実施後		
輸送品目			
貨物の輸送先である過疎地域をその区域とする市町村名			
輸送内容	事業計画	事業実施前	
		事業実施後	
	輸送実績	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px;"> ※複数経路で申請する場合には、総括表にそれぞれの経路の合計の貨物量、CO₂排出量、省力化効果及び実施額の合算を計算過程含め記載の上、次ページ以降経路ごとの貨物量、CO₂排出量、省力化効果の詳細を記載してください。 </div>	

5. 実施内容

輸送経路（ ）

※経路が複数ある場合は、A、B…、1、2…など
経路毎に表を作成して下さい。

類型		1. 貨物自動車輸送において、複数荷主の貨物を集約化して、 積載率を向上させて配送する事業 2. 旅客自動車運送事業者が貨物を輸送する事業	
輸送期間		(輸送期間) 令和 年 月～	
		(補助対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)	
		(報告対象期間) 令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)	
輸送 経路	事業 実施前	△△運輸 A 営業所(●●市●●町)→▽▽市▽▽町 △△運輸 A 営業所→▽▽市▽▽町 【35km】	
	事業 実施後	△△運輸 A 営業所→〇〇交通 B バスターミナル(●●市●●町)→〇〇交通 C バ スターミナル(▽▽市▽▽町)→▽▽市▽▽町 △△運輸 A 営業所→〇〇交通 B バスターミナル 【10km】 〇〇交通 B バスターミナル→〇〇交通 C バスターミナル 【20km】 〇〇交通 C バスターミナル→▽▽市▽▽町 【10km】	
輸送品目		食品、雑貨等	
貨物の輸送先で ある過疎地域を その区域とする 市町村名		▽▽県▽▽市	
輸送 内容	事業 計画	事業 実施 前	・貨物量：〇〇 t ・平均積載率： 〇〇% ・走行車両台数：〇〇台 ・CO ₂ 排出量：〇〇 t-CO ₂ ・トラックドライバー総走行時間：〇〇時間
		事業 実施 後	・貨物量：〇〇 t ・平均積載率： 〇〇% 【積載率向上△△】 ・走行車両台数：〇〇台 【削減台数△△】 ・CO ₂ 排出量：〇〇 t-CO ₂ 【削減量△△】 ・トラックドライバー総走行時間：〇〇時間 【削減量△△】

事業計画の内容を記載して下さい。
(変更した場合は変更後の内容)

	輸送 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物量：〇〇 t ・平均積載率： 〇〇%【積載率向上△△】 ・走行車両台数：〇〇台【削減台数△△】 ・CO₂排出量：〇〇 t-CO₂【削減量△△】
--	----------	---

報告対象期間における貨物量、平均積載率、走行車両台数及びCO₂排出量、ドライバー総走行時間の実績を記載し、事業計画の集約前と比較した場合の平均積載率の向上値、走行車両台数の削減台数やCO₂排出削減量、省力化効果を記載して下さい。（積算・計算過程を明らかにして下さい。）

貨物量は実際の運搬量を記載し、その根拠となる資料を5年間保管して下さい。

6. 自動化・省人化機器に資する機器の利用状況

※利用計画が複数ある場合は、
計画毎に作成して下さい。

〔利用状況〕

報告対象期間における計画策定の状況について記載して下さい。
また、何人分の省人化になったかを記載して下さい。

〔課題・改善点等〕

事業の実施後明らかになった課題や改善点等を記載して下さい。また、自動化・省人化による輸送が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や輸送の継続が困難である場合は、その原因についても記載して下さい。

〔今後の取組みについて〕

今後の展望や取組み内容について記載して下さい。また、計画の策定が当初の計画（変更した場合は変更後の内容）どおり実施されていない場合や計画の策定が困難である場合は、その改善策についても記載して下さい。

〔その他特記事項〕